

平成 28 年度第 2 回浦安市児童センター運営懇談会会議録

- 会議資料 別紙参照
- 開催日時 平成 28 年 12 月 8 日 (木) 午後 6 時 30 分～8 時 00 分
- 開催場所 総合福祉センター 2 階 多目的室
- 出席者 11 名 委員名
 - (委員) 菅原委員 (浦安市小中学校校長会)
 - 中島委員 (民間有識者 NPO 法人 i-net)
 - 牟田委員 (民間有識者 浦安子ども劇場)
 - 本田委員・岡田委員 (民生委員児童委員協議会)
 - 橋本委員・山田委員 (青少年相談員連絡協議会)
 - 松良委員・小泉委員 (子ども会育成連絡協議会)
 - 熊川委員 (こども部保育幼稚園課長)
 - 高柳委員 (こども部青少年課長)
 - (事務局) (こども部児童センター)
 - 東野児童センター：河野所長・小池・飯塚・小林・海老原・中里
 - 高洲児童センター：高梨所長・岡本・飯沼・村松・鹿野
- 開会
- 東野児童センター所長挨拶
- 委嘱状交付
- 会長・副会長の選出
- 会長挨拶 (菅原会長)
- 議 事
 1. 平成 28 年度前期事業報告について
 2. 平成 28 年度後期事業計画案について
 3. その他
 - ◎議事進行 (菅原会長)
 - 議事 1・2 について 児童センターごとに事業内容を報告
 - 議事 1・2 についての質疑応答・意見・感想
 - 議事 3. その他
 - 議事 3. その他についての質疑応答・意見・感想
- 閉会

◎議事1・2についての質疑応答

委員：東野児童センターの地域貢献の取り組みの中で部屋貸しというものがあるが、これはどの部屋を、どんな団体に貸し出しているのか。

事務局：視聴覚室を貸している。こども会などこども関係の団体が、クリスマス会を開催する際に使用することが多い。

委員：私の施設で利用者から問い合わせがあるが、なかなかお貸しできない。ママサークルや親子サークルであれば東野児童センターを紹介してもよいのか。

事務局：貸し出しがメインではなく視聴覚室は、来館の子が遊ぶ部屋となっている。ただ、大きい部屋がほしいとか、視聴覚室にはステージがあり特別な使い方ができるため、要望がある場合には、調整して貸し出している。

委員：児童センターに聞いてみるよう伝える。

委員：それぞれの施設でキッズスタッフは何人位いるのか。

事務局：東野児童センターは、今年は15名位。6年生の3名は部活で今年の後半はほとんど参加できていない。中心になっているのが5年生と3年生で、今回のクリスマス会には8名の子どもが司会として参加する。

事務局：高洲児童センターは、現在数は17名。中学1年の子もいたが、今は1年生から6年生までで一番多いのが1年生。上級生の子が主で下の子を引っ張って行ってくれる。大きな事業に盛り上げ役で参加し、司会進行役など役割を作っている。

◎議事3. その他

事務局：東野児童センターでは、前回の懇談会でスマートフォンの利用について、皆様にご相談したが、その件について報告をさせていただきたい。児童センターの中では、携帯電話やスマートフォンは使わないようにとのルールがあり、掲示もいくつかしているが保護者の方々に浸透しないのが現状である。児童センターで毎週金曜日に「電車あそび」という事業をやっているが、子ども達が電車あそびに夢中になっている間に、親御さんが下を見てずっとスマートフォンをいじっているという状況があった。担当職員は声掛けもしづらいため、児童センターは親と子のふれあ

いの場として使っていただける施設であり、保護者もお子さんと一緒に遊ぶようにと放送をしている。放送は、人を特定できないのでやりやすい。

会長：スマートフォンを使っている場面が他にもあるのか。

事務局：若いお母さんはよく使っている。今は寝る時以外はずっと使っていると言われており、社会がそういう状況になっているので避ける事はできない。児童センターの方針を皆様にわかっていただこうかと思っている。必要なときは使っていただいて構わないが、ずっと下を向いているとお子さんに全然目がいかない。危険なこともあるため、必ずお子さんに目を向けてほしい。少しずつ理解していただきたい。

会長：放送の中で、「電源を切って」という言葉は使わないのか。

事務局：そこまではしていない。用事があった場合はその部屋を出るのがマナーだと思うが、そこで大きな声で話をする事はしていないようだが、ずっと下を向いていることが多い。

会長：せっかくここに来ているのに残念なことだ。

事務局：便利なものが世の中に出てしまったので、それは避けられないと思う。最近、4人の学生達が食事をしているのを見たが、同じテーブルに座ってはいるが画面を見ながら食べていた。

会長：東小学校は一昨日マラソン大会だった。子ども達が必至に頑張っている、歯を食いしばって走っている姿とか、子ども達が楽しく遊んでいる姿を見たら、それは感動もあるし学びもある。そのようなことをうまく伝えられたらいい。

事務局：高洲児童センターでは、嬉しい事に昨年度に比べて大勢の方に来ていただいている。実際に取り組んでいる主催事業が若干増えており、日常的に来てくれる子どもも増えていると感じている。そこでいかに職員の声掛けができていけるのかが大事だと思っている。職員も細かに子ども達に声を掛けている様子が見え、そこでの繋がりが子ども達に心地よさを与えていると感じる。施設の豊かさを生かすのはそこを運営する人間であり、職員にさらに頑張っていってほしいと思う。スマートフォンの問題も東野児童センターと同様である。職員は声掛けをしていこうと取り組んでいる。現在、高洲公民館は、耐震工事で吹き抜け部分の天井工事をしている。開館をしながら施工しているが、交流空間の机も椅子も撤去してしまい、一番子ど

も達に人気のある所も使えないため、子どもの声がしない状況である。やはり安全には安全をと考えており、来年の 2 月までは、暫く子ども達にもお母さん達にも我慢をしていただくという状況になる。

会長：前期でプラス 5,000 人というのはすごいことだ。

事務局：子ども達が楽しいと思ってくれている。

会長：施設と事業が充実しているからではないか。

閉会